



取扱説明書

MP3/WMA/AAC CD ヘッドユニット

CDE-100J

MP3 AAC



安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

DC12V マイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないようにください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障または聴力障害の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

ディスク挿入口のすきまには、指や異物を入れないでください。ケガ・故障の原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意（共通）

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露がつき誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどディスクを取り出しておくと正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。車のサスペンションを通常より硬めにしていたり、サスペンションが壊れている場合は、音飛びする頻度が高くなります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは必ずアルパイン専用の「KAE-125C」（別売）を使用してください。「KAE-125C」以外のレンズクリーナーを使用するとレンズの破損や故障の原因となります。

取り扱い上のご注意（CD）

本機で使えるディスクについて

ディスクレーベル面に「CDロゴ」下記マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。



CD規格外ディスクを使用された場合には安定した再生や最良な音質の保証は致しかねます。

また、本機は音楽専用機器で録音した音楽専用のCD-R（CD-Recordable）/CD-RW（CD-ReWritable）、MP3/WMA/AACファイル形式のCD-R/CD-RWの再生が可能です。

- 次のようなディスクは、再生できないことがあります。指紋やキズが付いている／車内や製品内に長時間放置した／データ書き込み状態が不安定／データ書き込みに失敗し再録音した場合など。

- MP3/WMA/AACファイルは本機対応のフォーマットで記録したディスクを使用してください。詳しくは「MP3/WMA/AACについて」を参照してください。
- 音楽ファイルの他にROMデータが混在するディスクを再生する場合、データ領域は無音状態になります。

コンパクトディスク（CD/CD-R/CD-RW）の取り扱い

故障や動作不良を起こさないために次の点を守ってお使いください。

盤面にはさわらない／直射日光下に置かない／ラベルを貼らない／ホコリやごみが付いたら拭きとる／バリが無いことを確認する／市販のアクセサリを使わない。

特にCD-R/CD-RWは以下の点について十分に注意してください。

車内や製品内に長時間放置しない。特に直射日光下には絶対放置しない。

高温多湿の環境に弱いため、ディスクが劣化し再生不能となる場合があります。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

コンパクトディスクのお手入れ

柔らかいきれいな布で中心から外に向かってやさしく拭き取ってください。

新品のバリに注意

ディスクの側面やセンターホール面にバリ（突起）があると勝手にイジェクトします。このような場合は、ボールペンなどで縁をなぞって突起を取り除いてください。

CD-R/CD-RWをご使用のお客様へ

- CD-R/CD-RWが再生できない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行っているかどうか、確認してください。
- 行われていない場合は、クローズセッション（ファイナライズ処理）を行い、再度、お試しください。

CD規格外ディスクについて

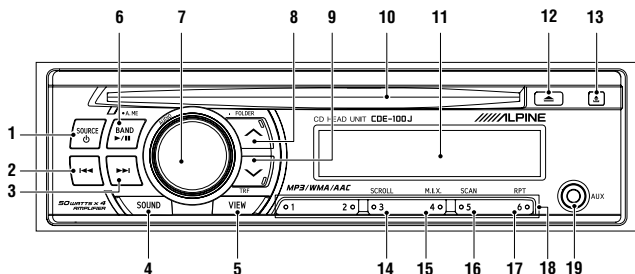
オーディオシステムは音楽CD規格に準拠して設計されています。CCCD（コピーコントロールCD）やSACD（スーパーオーディオCD）などのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

MP3/WMA/AACのご注意

- 本機で再生できるMP3/WMA/AACは、本機対応のフォーマットで記録されたディスクのみです。詳しくは「MP3/WMA/AACについて」を参照してください。
- DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムのWMAファイル、iTunes Storeで購入したAACファイル、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルは、本機では再生できません。
- 本機はオーディオデータとMP3/WMA/AACデータが混在するディスクでも再生が可能です。
- AACファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunesを使用してエンコードされたAACファイルのみの再生に対応しています。



ボタン名称



1 SOURCE ϕ (POWER) ボタン

電源を ON/OFF (1 秒以上押す) します。
音楽モードを切りかえます。

2 $\ll$ ボタン

ラジオ : 周波数がダウンします。
ディスク : 再生している曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。

3 $\gg$ ボタン

ラジオ : 周波数がアップします。
ディスク : 次の曲に進みます。押し続けると早送りします。

4 SOUND ボタン

イコライザー特性を選択できます。

5 VIEW ボタン

テキスト表示を切りかえます。
2 秒以上押すと、時計を調整できます。

6 BAND $\blacktriangleright$ /II $\cdot$ A. ME ボタン

ラジオ : ラジオバンドを切りかえます。
2 秒以上押すと、放送局が自動的に記憶されます。
ディスク : 再生/一時停止を切りかえます。

7 ロータリーエンコーダー / AUDIO ボタン

音量を調整します。
バス/トレブル/バランス/フェーダーを調整します。

8 FOLDER $\wedge$ ボタン

MP3/WMA/AAC
: 次のフォルダに進みます。

9 FOLDER $\vee$ /TRF ボタン

MP3/WMA/AAC
: 前のフォルダに戻ります。
2 秒以上押すと、交通情報を受信します。

10 CD 挿入口

CD を挿入します。

11 ディスプレイ

12 $\triangle$ (イジェクト) ボタン

CD を取り出すときに押します。

13 $\square$ ボタン

フロントパネルを外すときに押します。

14 SCROLL ボタン

テキストをスクロールします。

15 M.I.X. ボタン

ディスク内の曲が順不同に再生します。
2 秒以上押すと、フォルダ内の曲が順不同に再生します。

16 SCAN ボタン

曲を 10 秒間ずつ再生します。
2 秒以上押すと、各フォルダの先頭の曲のみ 10 秒間ずつ再生します。

17 REPEAT ボタン

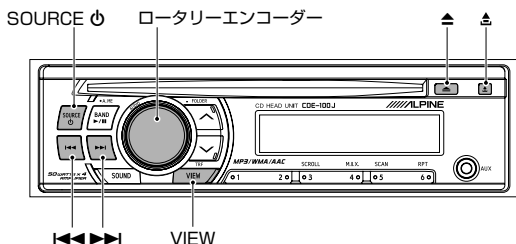
ディスク内の曲を繰り返し再生します。
2 秒以上押すと、フォルダ内の曲を繰り返し再生します。

18 1 ~ 6 ボタン

ラジオ : 記憶した放送局を呼び出します。

19 フロント AUX 端子

外部の音声出力端子の接続が可能です。



電源の ON/OFF

● 電源を入れる

イグニッションキー（エンジンキー）を ACC または ON にしてから操作してください。

を押す

電源が入ります。

■ Memo

- CD を挿入しても電源が入ります。
- 電源を切る前のモードで立ち上がります。
- 製品を長い時間使用していると、製品は徐々に熱くなつてきます。温度上昇は異常ではありませんが、煙が出たり変な臭いが出た場合は直ちに使用を中止し、お買い上げ店または、サービスセンターにご相談ください。

● 電源を切る

を 1 秒以上押す

電源が切れます。

■ Memo

- イグニッションキーを OFF にすると本機の電源も切れます。

音量を調整する

を回す

調整範囲：0～40（出荷時の設定：18）

■ Memo

- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障、または聴力障害の原因になります。
- 使用環境によっては、一時的に音量が下がる場合がありますが故障ではありません。

音楽モードを切りかえる

を繰り返し押す

音楽モードを選びます。

モード表示	モード名
RADIO	ラジオ
CD ^{※1}	CD、MP3/WMA/AAC
AUX	外部入力

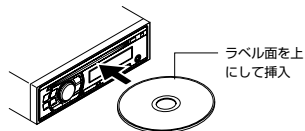
※ 1 ディスクを挿入すると自動的に CD モードになります。

■ Memo

- ラジオモードにすると、車両のアンテナが伸びます。（パワーアンテナ装着車のみ）

ディスクを挿入する

ディスクを挿入する



ディスクを挿入すると再生を開始します。

■ Memo

- シングル CD（8cmCD）は使用できません。またアダプターを使用した場合も使用できません。
- 再生されるまで時間がかかる場合があります。

● ディスクを取り出す

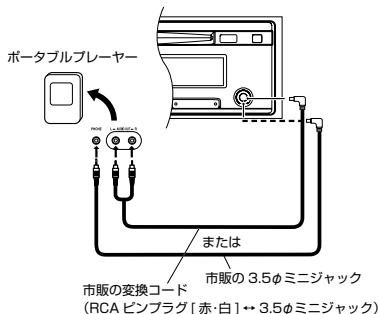
を押す

■ Memo

- ディスクは必ず取り出してください。

フロント AUX 端子を使う

ポータブルプレーヤーなどを市販の変換コードで接続することで、その音楽を楽しむことができます。



時計を調整する

1 VIEW を 2 秒以上押す

<時>表示が点滅します。

2 戻る または 進む を繰り返し押す

「時」を調整します。

押し続けると、連続で数字が変わります。

3 VIEW を押す

「時」が確定し、<分>表示が点滅します。

4 戻る または 進む を繰り返し押す

「分」を調整します。

押し続けると、連続で数字が変わります。

5 VIEW を押す

時計の調整が終了し、元のモードに戻ります。

■Memo

- 時計は 24 時間表示です。

時計を表示する

VIEW を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。時計表示を選びます。

■Memo

- 表示モードの切り替えについて詳しくは、「テキストを表示する」を参照してください。
- 時計を表示している状態でラジオ、CD などを操作すると、行った操作を 5 秒間表示した後、時計表示に戻ります。
- 時計は 24 時間表示です。

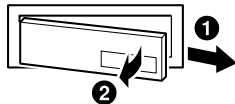
フロントパネルの取り外しと取り付け

■Memo

- フロントパネルの取り外しと取り付けは、電源が切れている状態で行ってください。

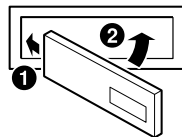
1 上を押す

フロントパネルを右方向 ① にスライドさせ、手前方向 ② に引いて外します。



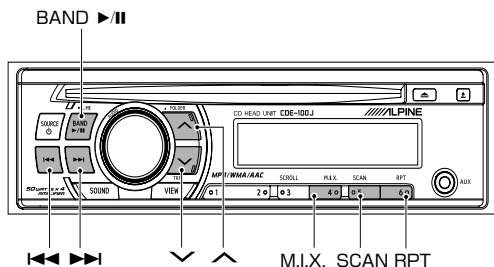
2 フロントパネルを取り付ける

フロントパネルを左角 ① へ合わせ、右端 ② をゆっくり力チツと音がするまで押し込みます。



■Memo

- フロントパネルを外す時に必要以上の力を加えないでください。故障の原因となります。
- 取り外したパネル（特に裏側端子部）が暖かくなっていても故障ではありません。
- 取り外したパネルを取り付ける前に：コネクター端子に汚れやほこりがないこと、取り外したパネルとメインユニットの間に異物がないことを確認してください。



聴きたいフォルダを選ぶ (MP3/WMA/AAC)



を押す

次のフォルダに進みます。



を押す

前のフォルダに戻ります。

選択したフォルダの1つ目のファイルが再生されます。

聴きたい曲（ファイル）を選ぶ



を押す

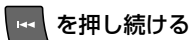
再生中の曲（ファイル）の頭に戻ります。続けて押すと前の曲（ファイル）の頭出しをします。



を押す

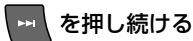
次の曲（ファイル）に進みます。

早送り／早戻しをする



を押し続ける

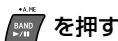
早戻しします。指を離すと通常再生に戻ります。



を押し続ける

早送りします。指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する



を押す

< PAUSE >を表示し、再生が一時停止します。再度押すと再生を開始します。

繰り返し聴く（1 曲リピート）

再生中の曲（ファイル）を繰り返し再生させることができます。

RPT

6 〇

を押す

< 〳 RPT > インジケーターが点灯し、曲が繰り返し再生されます。

● 解除するには

RPT

6 〇

を押す

< 〳 RPT > インジケーターが消灯し、通常の再生に戻ります。

フォルダ内のファイルを繰り返し聴く（MP3/WMA/AAC）

現在聴いているフォルダ内のファイルを繰り返し再生させることができます。

RPT

6 〇

を 2 秒以上押す

< 〳 FOLDER > < 〳 RPT > インジケーターが点灯し、ファイルが繰り返し再生されます。

● 解除するには

RPT

6 〇

を 2 秒以上押す

< 〳 FOLDER > < 〳 RPT > インジケーターが消灯し、通常の再生に戻ります。

曲順を変えて聴く（M.I.X.）

ディスク内の曲（ファイル）を順不同に再生させることができます。

M.I.X.

4 〇

を押す

< 〳 M.I.X. > インジケーターが点灯し、曲が順不同に再生されます。

● 解除するには

M.I.X.

4 〇

を押す

< 〳 M.I.X. > インジケーターが消灯し、通常の再生に戻ります。

フォルダ内の曲順を変えて聴く（MP3/WMA/AAC）

現在聴いているフォルダ内のファイルを順不同に再生させることができます。

M.I.X.

4 〇

を 2 秒以上押す

< 〳 FOLDER > < 〳 M.I.X. > インジケーターが点灯し、ファイルが順不同に再生されます。

● 解除するには

M.I.X.

4 〇

を 2 秒以上押す

< 〳 FOLDER > < 〳 M.I.X. > インジケーターが消灯し、通常の再生に戻ります。

聴きたい曲を探す（SCAN）

ディスク内の曲（ファイル）のイントロだけを聴いて、聴きたい曲（ファイル）を探すことができます。

SCAN

5 〇

を押す

曲が 10 秒間ずつ再生されます。

● 聴きたい曲が見つかったら

SCAN

5 〇

を押す

通常の再生に戻ります。

聴きたいフォルダを探す（MP3/WMA/AAC）

フォルダ内の最初のファイルのみを 10 秒間再生し、聴きたいフォルダを探すことができます。

SCAN

5 〇

を 2 秒以上押す

< 〳 FOLDER > インジケーターが点灯し、次のフォルダから最初のファイルのみを 10 秒間ずつ再生します。

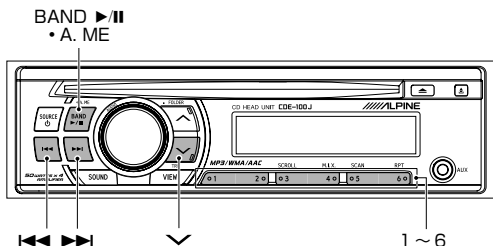
● 聴きたいフォルダが見つかったら

SCAN

5 〇

を 2 秒以上押す

< 〳 FOLDER > インジケーターが消灯し、通常の再生に戻ります。



バンドを切りかえる



を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → FM3 → AM → FM1…

聴きたい放送局を選ぶ

● 手動で選ぶ

1 段階ずつ周波数が変わります。



を繰り返し押す

周波数がダウンします。

押し続けると連続で周波数がダウンします。



を繰り返し押す

周波数がアップします。

押し続けると連続で周波数がアップします。

■ Memo

- FM ラジオは 0.1MHz、AM ラジオは 9KHz ずつ変わります。

● 記憶させた放送局を選ぶ

あらかじめ記憶（プリセットメモリー）されている放送局を選んで受信します。

01 20、03 40、

05 60 のいずれかを押す

選択した放送局が受信されます。

■ Memo

- 放送局を記憶させる操作については、「放送局を記憶させる」を参照してください。

放送局を記憶させる

● 手動で記憶させる

1 記憶させたい放送局に周波数を合わせる

2 01 20、03 40、

05 60 のいずれかを 2 秒以上押す

押された No. に放送局が記憶されます。

■ Memo

- 放送局は 24 局まで記憶できます。
- FM1…6 局、FM2…6 局、FM3…6 局、AM…6 局
- すでに記憶されている No. に記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。

● 自動で記憶させる(オートメモリー)

1 を繰り返し押す

バンドを選びます。

FM1 → FM2 → FM3 → AM → FM1…

2 を 2 秒以上押す

自動選局を開始します。

電波の強い順に 6 つの放送局が自動的に受信されて「1」～「6」に記憶します。記憶が終わると「1」に記憶している放送局が受信されます。

■ Memo

- 受信電波の弱い地域では、オートメモリーでの自動受信ができません場合があります。放送局を 1 つも受信（記憶）できなかったときは、操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

道路交通情報を受信する TRF (トラフィックインフォメーション)

1 を 2 秒以上押す

TRF モードになり、AM 放送の 1620kHz または、1629kHz の交通情報を受信します。

2 または を押す

1620kHz / 1629kHz を切りかえます。

■ Memo

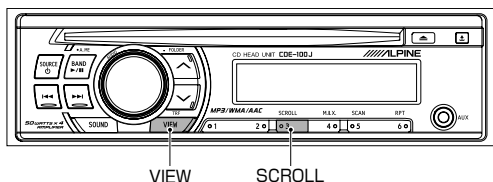
- 交通情報を行っている地域に合わせて周波数を切りかえてください。

3 を 2 秒以上押す

TRF モードを終了し、元のモードに戻ります。

■ Memo

- CD、ラジオなど、いかなるモードのときでも交通情報を受信できません。



テキスト／スクロールとは

この説明書で使用する「テキスト」、「スクロール」について説明します。

■ テキストとは

あらかじめ CD に入力されている文字の表示ができることを言います。



マークがついているものにはテキストが入っています。

文字を正確に表示できない場合もあります。

■ テキスト入力表示一覧

		入力	表示
テキスト	MP3/WMA/AAC	×	○*
	CD	×	○
対応文字	英数、記号		

※ MP3/WMA/AAC ディスクの場合は、フォルダ名／ファイル名／タグ情報の表示ができます。

■ Memo

- 漢字、ひらがな、カタカナは表示できません。

■ スクロールとは

文字を次々と表示させることを言います。本機では、曲が変わったときなどに一回だけスクロールします。CD テキストとフォルダ名、ファイル名、タグ表示のみスクロール表示します。

■ Memo

- 8 文字以下の場合は、スクロールしません。
- 再スクロールを行う場合は、「3 (SCROLL)」を押します。

テキストを表示する

CD テキスト対応の音楽 CD 再生中に、ディスク名／トラック名などを表示させることができます。

MP3/WMA/AAC ファイルを再生中は、フォルダ名、ファイル名、タグ情報の表示ができます。

VIEW

を繰り返し押す

押すたびに表示モードが変わります。

■ CD

トラック No./ 再生時間 → テキスト (ディスク名) *1 → テキスト (曲名) *1 → 時計 → トラック No./ 再生時間

■ MP3/WMA/AAC

フォルダ No./ ファイル No. → 再生時間 → フォルダ名 → ファイル名 → アルバム名*2 → 曲名*2/ アーティスト名*2 → 時計 → フォルダ No./ ファイル No.

■ ラジオ

周波数 → 時計 → 周波数

■ AUX

AUX IN → 時計 → AUX IN

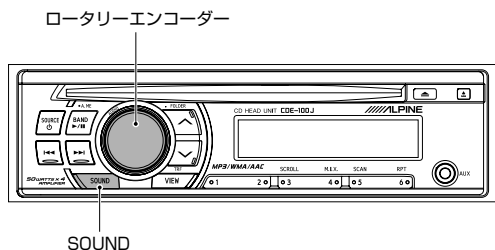
※ 1 CD テキストは半角 64 文字まで表示できます。

テキスト表示がない場合は、< NO TEXT >と表示されます。

※ 2 MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っていれば、曲名、アルバム名、アーティスト名が表示されます。
半角 64 文字まで (Unicode の場合は、32 文字まで)
その他の情報や表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。

■ Memo

- 「タグ」「ルートフォルダ」については用語説明を参照してください。
- 表示可能な文字数を越えた情報は表示されません。
- 「漢字」「ひらがな」など本機で表示できない文字情報の場合、< * >が表示されます。
- 文字を正確に表示できない場合があります。
- プレイリスト名を表示させることはできません。
- MP3/WMA/AAC のルートフォルダは、< ROOT >と表示されます。



5秒以内に操作

バス／トレブル／バランス／フェーダーを調整する

1 ● を繰り返し押す

調整したいモードを選びます。

BASS → TREBLE → BALANCE → FADER →
通常モード → BASS...

2 ● を廻す

好みのレベルに調整します。

● BASS LEVEL...バス（低音）調整

低音域を強めたり、弱めたりします。

調整範囲：- 12 ~ + 12 dB（出荷時の設定：0 dB）

● TRE LEVEL...トレブル（高音）調整

高音域を強めたり、弱めたりします。

調整範囲：- 12 ~ + 12 dB（出荷時の設定：0 dB）

● BALANCE...バランス調整

左右のスピーカー音量を調整します。

調整範囲：L15 ~ R15（出荷時の設定：CNT（センター））

● FADER...フェーダー調整

前後のスピーカー音量を調整します。

調整範囲：F15 ~ R15（出荷時の設定：CNT（センター））

イコライザー特性を選ぶ

あらかじめ設定されているイコライザー特性を選択し、好みの音質に設定できます。

SOUND を繰り返し押す

設定したいイコライザー特性を選びます。

FLAT (OFF) → ROCK → POP → JAZZ → VOCAL →
CLUB → FLAT (OFF) ...



取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず「安全にお使いいただくために」をよく読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- スピーカーの接続
 - 純正のスピーカー用コードを使う場合、左右のコードのマイナス側が共通になっているものには使用できません。
 - スピーカーは、インピーダンスが $3.2 \sim 8 \Omega$ のものをお使いください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 取り付け場所について

ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して 30 度以内に取り付けてください。
- 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。



- バッテリーのマイナス端子を外す。
- 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
- 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
- オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付けるの手順 2 で利用します。)

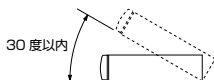
3. 接続する

- 基本接続図を参照して接続する。
 - 誤接続を防ぐために、接続することに $\checkmark$ 点をつけてください。
- ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込む。
- 正しく接続されているか、 $\checkmark$ 点もれているところはないか確認する。
- バッテリーマイナス端子を接続する。
- イグニッションキーを ON にして本機電源を入れ、音が出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
- 本機の電源を切る。
- イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

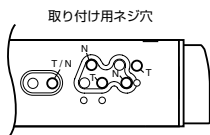
4. 取り付ける

取り付けの際は、必ずフロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

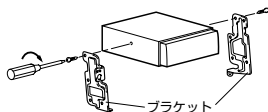
1. CD の出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



2. 本機にブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。



T 穴→トヨタ・ミツビシ車専用
N 穴→ニッサン車専用



3. 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
4. インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

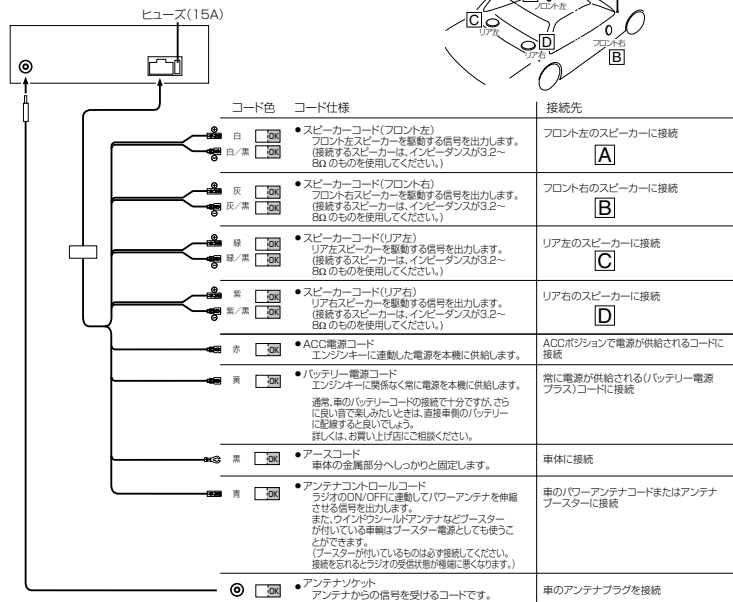
5. 確認する

1. イグニッションキーを ON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

■Memo

- 車両雑音から守るために
 - ・ アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。
 - ・ 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
 - ・ ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

基本接続図



故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？



接続・配線は正しく行われていますか？



下の表をもう一度ご確認ください。



それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、一度電源を OFF → ON してください。それでも正常に動作しない時は、下表を参照して処置を行ってください。

共通部

動作しない。

ディスプレイに何も表示されない。

- ヒューズが切れている。
- 規定容量のヒューズと交換する。

電源が入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
- 音量レベルを上げる。
- フェーダーの設定が適切でない。
- 2 スピーカーで聴くときは、スピーカーのバランスを前または後に設定する。

記憶させた内容が消えてしまった。

- 電源コードまたはバッテリーをはずした。
- もう一度記憶する。
- バッテリーコードの接続ミス
- 接続を確認する。

ディスプレイが暗い。

- 気温が低いときは、電源を入れた後、しばらく暗いことがある。
- しばらく待つ。

CD 部

ディスクが入らない。

- すでに別のディスクが入っている。
- ディスクを取り出してから入れ直す。

演奏が始まらない。／音がとぶ。／音が歪む。／早送り／早戻しができない。

- 車内温度が 50℃ 以上ある。
- 車内温度を常温まで下げてから、演奏させる。
- ディスクに傷が付いている。
- ディスクがひどく汚れている。
- 録音状態が良くない。
- 音楽用ディスクでない。
- 本機対応のディスクでない。
- 他のディスクを再生してみる。
- 結露している。
- しばらく放置してから使う。
- ピックアップレンズが汚れている。
- メンテナンスをする。(お問い合わせ窓口へ)
- ご自分でメンテナンスをする場合は、必ずアル/イン専用の「KAE-125CJ」(別売)のレンズクリーナーを使用してください。

CD-R/CD-RW が再生できない。

- クローズセッション (ファイナライズ処理) を行っていない。
- クローズセッション (ファイナライズ処理) を行い、再度、試してみる。

MP3/WMA/AAC が演奏されない。

- 書き込みに失敗している／対応フォーマット以外で書き込まれている。
- 書き込みに失敗していないか確認する。または、「MP3/WMA/AAC について」を参照し本機対応のフォーマットで書き込みを行う。
- 作成したライティングソフトによっては再生できない場合がある。
- 他のソフトで試してみる。

ラジオ部

受信できない。

雑音が入る。

- アンテナが接続されていない。
- アンテナが確実に接続されているか確認する。
- アンテナが伸びていない。
- アンテナを伸ばす。
- アンテナコントロールコードが接続されているか確認する。
- 放送局の周波数が合っていない。
- 周波数を正しく合わせる。
- 周りに障害物などがあり、受信状態が良くない。
- 見通しが良いところに移動する。
- アースコードが接続されていない、ゆるんでいる。
- アースコードが接続されているか確認する。または、接続場所を変更する。

メッセージが表れたら… (CD 部)

CD ERR1

- ディスク汚れ。／ディスクが裏返し。／音楽用ディスクでない。
- 「▲」を押して、ディスクを交換する。

CD ERR2

- ディスク傷。
- 「▲」を押して、ディスクを交換する。

CD ERR3

- メカニズムエラー。
- 修理ご相談窓口へ相談する。

CD ERR4

- 本機で対応していないサンプリングレート (ビットレート) で書き込みされている。
- 本機対応のサンプリングレート (ビットレート) で書き込みを行う。

CD ERR5

- コピープロテクト (著作権保護) されている WMA ファイルを演奏した。
- コピープロテクトされていないファイルを演奏する。

規格

チューナー部

受信周波数	AM : 522 ~ 1,629kHz FM : 76.0 ~ 90.0MHz
実用感度	AM : 28dB/ μ V (S/N 20dB) FM : 5dB/ μ V (S/N 30dB)
周波数特性	30Hz ~ 15kHz ($\pm$ 3dB)
ステレオセパレーション	FM : 30dB 以上 (1kHz)
SN 比	FM : 62dB 以上 (1kHz)
イメージ妨害比	FM : 70dB 以上
IF 妨害比	FM : 100dB 以上

CD 部

方式	光学式 (コンパクトディスク方式)
DA コンバーター	1 ビット DAC システム
チャンネル数	2 チャンネル (ステレオ)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz ($\pm$ 1dB)
SN 比	96dB (1kHz)
高調波歪率	0.01% (1kHz)
チャンネルセパレーション	85dB (1kHz)
ワウフラッター	測定限界以下

一般

使用電源	DC12V (動作範囲: 11 ~ 16V)
アース方式	マイナスアース
最大出力	50W $\times$ 4
外形寸法	178 (幅) $\times$ 50 (高さ) $\times$ 160 (奥行) mm
重量	1.2 kg

フロント AUX

入力インピーダンス	10k Ω
最大入力レベル	2V (20Hz ~ 20kHz)
コネクタ	ϕ 3.5mm ステレオミニジャック

Windows Media および Windows は、米国及びその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson から実施許諾されています。

本製品の供給は、収益を発生する放送システム、ストリーミングアプリケーション、その他のコンテンツ配信システム、または物理的媒体で、本製品で創作されたコンテンツを配信する権利を暗示するものではありません。当該使用には、独立したライセンスが必要です。詳細に関しては、<http://mp3licensing.com> にアクセスしてください。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低 6 年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様＞
TEL: 0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
(一部回線でつながらない場合があります。)
＜携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様＞
TEL: 048-662-6636



- 電話受付時間 9:30～12:00 13:00～17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAX での問い合わせをおすすめします。
FAX: 048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販売店	電話番号	住所	担当 都道府県
北海道エリア 札幌オフィス	011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号 上野ビル	北海道全域
東北エリア 仙台オフィス 盛岡オフィス	022-239-5331 024-925-3811	〒983-0039 宮城県仙台市宮城野区新田東 3-3-3 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池 11 番 5 号	宮城県 / 山形県 / 秋田県 / 青森県 / 岩手県 福島県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-26-0783 025-385-1360	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2 丁目 7 番 2 号 〒390-0847 長野県松本市笹部 1 丁目 3 番 7 号 オフィス G8205 号 〒950-0208 新潟県新潟市江南区横越中央 1 丁目 9 番 17 号 103 号室	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県 (大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区猪子 3 丁目 108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県 (大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 広島オフィス	082-846-1175	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本 4 丁目 6 番 5 号	広島県 / 岡山県 / 山口県 / 鳥取県 / 徳島県 / 香川県 / 愛媛県
九州エリア 福岡オフィス	092-627-4111	〒812-0853 福岡県福岡市博多区東平尾 2 丁目 2 番 48 号	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県
アルパイン京都販売 (株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上烏羽高座町 88-2	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売 (株)	079-293-3554	〒670-0976 兵庫県姫路市中地 41-3 2F	兵庫県
マークエンタープライズ (株)	088-884-6800	〒781-8122 高知県高知市高須新町 3 丁目 10 番 8 号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス (株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 埼玉県 / 千葉県 / 東京都 / 神奈川県 / 静岡県 (大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス (株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 鳥取県 / 島根県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

修理ご相談窓口

名 称	電話番号	住 所
北海道		
西島家電高専札幌店	011-762-0458	〒001-0825 札幌市北広新川5条2丁目3-18
北沢電子 (株)	011-661-2414	〒063-0033 札幌市西区西野3条3丁目5番地1号
鶴島電装 (株)	0138-48181	〒041-0824 旭川市西条町168番地の2
千代田電装工業 (株)	0166-22-8451	〒070-0034 旭川市四條通2丁目5-8-10
青森県		
(有) 三宮電装	0178-29-4410	〒039-1163 八戸市高津2丁目23-16
(有) 交通電機商事	0196-87-1561	〒020-0172 岩手県滝沢市御幸町上原64
山形県		
カーサウンドサイト	0236-24-8953	〒990-2321 山形市桜田西3丁目4-7
(有) 山江電子サービス	0234-22-1832	〒998-0841 酒田市松原南21-4
宮城県		
(株) 日本電機サービス (仙台)	022-254-4531	〒983-0005 仙台市宮城野区宿元産間35
(株) ササキサウンド	022-771-8818	〒981-3137 仙台市泉区大沢3丁目8番地の1
(会) 佐々木電化協会	022-362-4332	〒985-0045 釜石市西玉川11-20
大田代電機	0225-22-4996	〒986-0833 石巻市町和五4-1-10
フジ電装	0229-25-3010	〒989-0143 宮城県大崎市川内町1丁目12-5
福島県		
芳広通信機器サービス	0249-43-5876	〒963-0101 仙台市安積町日出山1丁目95-3
(有) エンドー電機システムズ	0249-52-8417	〒963-8035 仙台市若菜ヶ丘12-3
(株) オートデンソールマルマ	024-945-5388	〒963-0111 仙台市安積町荒井戸8-5-2
(会津支店)	0242-24-1717	〒965-0025 会津若松市南町101
(白河支店)	0248-23-4555	〒961-0972 白河市 立石 1-3
茨城県		
(株) 日本電機サービス (茨城)	0292-47-3231	〒310-0844 水戸市住吉町 64
(株) デンソー東京	0292-43-0516	〒310-0851 水戸市千波町 2345-13
栃木県		
(株) 日本電機サービス (栃木)	028-648-6291	〒320-0851 宇都宮市南田町 1362-2
サウンドサービス	028-653-8523	〒321-0131 宇都宮市南大宮 1-173-38
群馬県		
(株) 日本電機サービス (北関東)	0276-46-5885	〒373-0818 太田市小清水町 377
長野県		
長野県		
原田電子サービス	0263-53-6723	〒399-0705 長野市丘丘登町2146-339
新潟県		
(有) ムツミ電装	025-285-1919	〒950-0984 新潟市朝日町 2-43-6
(株) 丸山電機	0258-27-0009	〒940-2112 長岡市大島本町 5-118-10
東京都		
アース電機 (株)	03-3758-7821	〒146-0095 大田区多摩川 2-9-17
アライ電機産業 (株)	03-3925-1602	〒179-0075 練馬区泉 6-33-14
(株) 日本電機サービス (東京)	03-3395-3681	〒167-0042 杉並区西国分寺 1-8-20
(有) キャリサービス	03-3671-7001	〒124-0021 墨田区堀江 3-3-4
三共無線サービス	03-3760-2392	〒153-0042 目黒区青葉台 1-27-1
(有) テクニカルサービス	03-3558-7008	〒115-0051 北区津島 2-6-10
(株) 日本電機サービス (本社)	0425-58-7773	〒197-0803 東京都野田町 255
叶電機	0425-51-9350	〒197-0011 墨田区篠森 2241 番地 P108号
AL サラシス	0428-32-6977	〒198-0024 青葉区新町 5-3-2
神奈川県		
(株) 日本電機サービス (神奈川)	045-953-2510	〒241-0031 横浜市中区今新町 255
関東電子サービス (株)	045-934-9091	〒226-0025 横浜市新緑区小川町 232-7
(株) エルエレクトロ	045-242-0029	〒220-0022 横浜市新西区花咲町 4丁目116番地
埼玉県		
(株) 日本電機サービス (埼玉)	048-651-2327	〒331-0802 さいたま市本郷町 1135-1
千葉県		
(株) 日本電機サービス (千葉)	043-216-0580	〒262-0003 千葉市花見川区区平台町 1501-1
静岡県		
(株) 日本電機サービス (静岡)	054-247-2522	〒420-0804 静岡市清水区 1-16-1
三和電子サービス (株)	053-595-3232	〒431-0302 浜名郡新居町新居 3358-12

(股)

名 称	電話番号	住 所
愛知県		
(株) 日本電機サービス (名古屋)	052-702-1071	〒465-0067 名古屋市東区桑原町
(株) センターコ(ヤシ)	052-881-3400	〒466-0059 名古屋市東区横江3丁目1-40
名電機 (株)	052-761-5306	〒466-0853 名古屋市北区和歌山通り1-2
(有) 名電機協同会	052-241-9797	〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-1山田ビル1階
源辺電機商会	052-914-3321	〒462-0025 名古屋市北区安井1-1-11
軟サービス電機	052-793-6844	〒463-0081 名古屋市山王山町 394-1
(有) 前田電機	052-561-5110	〒451-0051 名古屋市西区別荘南町2丁目25番地6号
(有) サカタ電機	052-805-7887	〒468-0031 名古屋市北区高島町 1605 番地 2
(有) 横井計装	0562-48-5223	〒474-0072 大府市北山町4丁目77番地
フジミックス (株)	0586-75-5112	〒491-0804 一宮市千秋町笠野字清水 85 番 1
三重県		
FIX	0593-80-3134	〒510-0244 鈴鹿市白子町北新田 1896-1
(株) 今尾電機	0593-82-1287	〒513-0816 鈴鹿市南玉引町 5434-1
富山県		
ナカノ商会	0766-54-1585	〒939-0413 富山県大野町 1288
石川県		
新口電機	0761-51-2498	〒923-1201 能美市辰井町都内口 75-2
福井県		
(株) ハーメンサービス	0776-35-8182	〒918-8015 福井市花室1丁目15-4
滋賀県		
滋賀オーディオサービス	0748-55-2070	〒529-1541 瀬田市瀬田町瀬生南 338-78
京都府		
洛西電子	075-331-4847	〒610-1153 京都市西京区大原野町南春日 388
電装技研 (株)	075-821-5843	〒602-8365 京都市上京区大北町御通上ル
ヤハタ電気	0774-21-5736	〒611-0013 宇治市葛原谷町 8 番地の 1 Ⅱ303
大阪府		
(株) 日本電機サービス (関西)	06-6827-0801	〒533-0001 大阪市東淀川区長崎町 4 丁目 6-27
サンコーオーディオ	06-6768-0597	〒540-0005 大阪市中央区上町 1 丁目 1-1-3 第2 清水谷ビル 1F
タツミ電気商会	06-6573-3605	〒552-0007 大阪市港区天井 3-1-4
プジョーオーディオサービス	0722-23-9895	〒590-0074 堺市西区北花田町 1-2-27
和歌山県		
ミナト電機商会	0734-23-0681	〒640-8251 和歌山市中南町 48
奈良県		
エルバック (株)	0742-36-8700	〒630-8132 奈良市大森西町 21-26
兵庫県		
ニオサービス	078-652-1099	〒652-0873 神戸市兵庫区金平町 1 丁目 32-9
兵庫電子サービス	078-652-3946	〒652-0834 神戸市兵庫区大石町 1 丁目 1-9 浅沼マンション 1F
(株) 堀通電子	078-621-2103	〒653-0851 神戸市長田区五位 1 地町 3 丁目 4-2
太子電器	0792-77-3703	〒671-1523 豊後郡太市東海部小川 647-3
岡山県		
中田電器	086-263-9146	〒702-8058 岡山県並木町 2 丁目 8-17
広島県		
(有) 北洋電子	082-291-6537	〒733-0012 広島市西区中広町 2 丁目 23 番 4 号
(有) 俊栄サービス	0849-31-3761	〒721-0966 広島市手紙町 1 丁目 2-31
香川県		
(有) 松岡電機サービス	087-843-1040	〒761-0102 高松市新田町甲 470-11
愛媛県		
(有) 堀田電機サービス	0899-57-3174	〒791-1112 松山市高井町 1982-3
徳島県		
みの電子(株) (徳島)	088-655-5958	〒770-0804 徳島市中吉野町 2 丁目 18-2
高知県		
(株) ショケン	0888-83-5101	〒780-0056 高知市北町 3-10-39
福岡県		
(株) 日本電機サービス (福岡)	092-441-7888	〒816-0092 福岡市博多区東部町 2 丁目 14-26-1
中元電機	0948-22-4830	〒820-0011 福岡市大牟田の森 13-67
久留米音響サービス	0942-21-3781	〒830-0052 久留米市上津町 1651-2
佐賀県		
佐賀テクノカルサービス	0952-33-5343	〒849-0932 佐賀市鍋島町大字戸瀬 1252-13
大分県		
緑田電機サービス	097-503-1558	〒870-0136 大分市山王町 2 丁目 5-35
熊本県		
大塚電機	096-372-1403	〒860-0811 熊本市本庄 2-3-22
長崎県		
泉原無線	0957-64-0821	〒855-0801 島原市島高 2-7208
(有) 野中電機	0956-58-6494	〒859-3241 佐世保市有福町 576-1

MP3/WMA/AAC について

注意： 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3/WMA/AAC データ含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

MP3 とは？

正式には「MPEG-1 Audio Layer3」といい、国際標準化団体の ISO と IEC の共同活動機関である MPEG が定めた圧縮規格です。

MP3 は音声データを圧縮した音声ファイルで、サウンドデータを非常に高い圧縮率で圧縮することができます。

また、CD クオリティに近い音質を実現しても約 1/10 の圧縮率を得ることができます。

(サンプリング周波数 44.1kHz、ビットレート 128kbps の場合)

このような高圧縮率を実現している MP3 フォーマットは、人には聴き取れない音を消すことなどにより高圧縮を実現しています。

WMA とは？

WMA または「Windows Media™ Audio」は、圧縮されたオーディオデータです。

WMA は MP3 オーディオデータと同様に小さいファイルサイズで CD 同等の音質を実現しています。

AAC とは？

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮の基本フォーマットです。

MP3/WMA/AAC へ圧縮する方法

MP3/WMA/AAC 専用ソフトを使い圧縮します。詳しくは専用ソフトの説明書を参照してください。

また、本機で再生可能な MP3/WMA/AAC ファイルの拡張子は「mp3」/「wma」/「m4a」です。(WMA は Ver.7 ～ 9 に対応)

■注意

- AAC ファイルを作成したソフトによってはファイル形式と拡張子が異なります。本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルのみの再生に対応しています。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

サンプリングレート

MP3/AAC：8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、

24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

WMA

：32kHz、44.1kHz、48kHz

ビットレート

MP3：8kbps ～ 320kbps、WMA：64kbps ～ 160kbps

AAC：16kbps ～ 320kbps

ただし、サンプリングレートとビットレートの組み合わせによっては正常に再生されない場合があります。

上記記載以外は動作を保証致しかねます。

ID3 タグ/ WMA タグについて

本機は ID3 タグ、WMA タグに対応しています。

MP3/WMA/AAC ファイルにタグ情報が入っている場合は、タイトル（曲名）、アーティスト名、アルバム名などのタグ情報を表示できます。

対応文字以外の場合、< * > が表示されます。

また、ID3 タグ情報に文字以外の情報が含まれている場合、その音楽ファイルは再生できない場合があります。

MP3/WMA/AAC を作成するには

MP3/WMA/AAC ファイルを用意し、CD-R ライティングソフトを利用して、CD-R / CD-RW メディアに書き込みます。

ディスクの場合、ファイル/フォルダ数（ルートフォルダを含めて）は、あわせて 512 個まで、最大フォルダ数は 255 個です。

上記の制限以外で書き込まれたディスクは、再生できない場合があります。

MP3 作成ソフトの 1 部にはライティングソフトが同梱されているものもあります。このようなソフトを使用した場合、本機で再生できないことがあります。このような場合は他のライティングソフトを使用して MP3 フォルダ（ファイル）のみを記録してください。

対応メディア

再生できるメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW です。

対応ファイルシステム

ISO9660 レベル 1、レベル 2 でフォーマットされたディスクに対応しています。

ISO9660 規格では、フォルダのディレクトリ階層（最大 8 階層）やフォルダ/ファイル名の文字数、フォルダ/ファイル名で利用できる文字

(A～Z、0～9、_ (アンダーバー)) などの制限があります。また、Romeo、Joliet などの ISO9660 準拠であれば、再生は可能です。ただし、ファイル名/フォルダ名などは正しく表示されない場合があります。

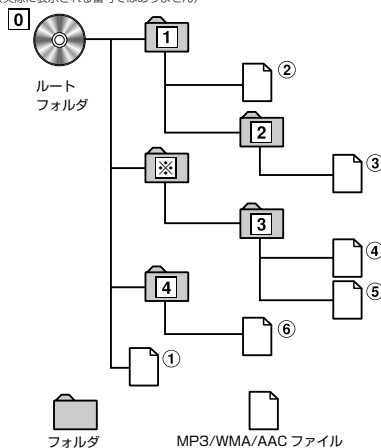
対応フォーマット

CD-ROM、CD-R、CD-RW 及びマルチセッションに対応しています。但し、Track At Once やバケットライトで作成された CD の場合、正常に再生できません。

Apple HFS、UDF1.50、Mixed Mode CD、Enhanced CD (CD-Extra)、には対応しておりません。

演奏される順番

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。下図のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでの演奏順は次の通りです。(実際に表示される番号ではありません)



※ ファイルが入っていない空のフォルダは、フォルダ No./ フォルダ名は表示されません。

●用語説明

ビットレート

エンコードするときに指定する「音」の圧縮率で、ビットレートが高いほど高音質になるが、ファイルサイズも大きくなる。

サンプリングレート

データを 1 秒間に何回サンプリング（記録）するかを示す値のことです。たとえば、音楽 CD は 44.1kHz で、1 秒間にデータを 4 万 4100 回サンプリング（記録）していることになります。上げれば高いほど音質は向上しますが、それだけデータ量も増えます。

エンコード

音楽 CD や WAVE ファイルなどの音声ファイルを、特定の音声圧縮フォーマットに変換すること。

タグ

曲名やアルバム名、アーティスト名など、MP3/WMA/AAC ファイルに書き込まれた楽曲情報。

ルートフォルダ

ファイルシステムの最上階層のフォルダ。すべてのフォルダ/ファイルはルートフォルダに含まれています。

お客様へ



このたびは、アルパイン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

充実したサポートとサービスのために是非お客様登録をお願いします。

アルパイン製品をご購入いただいたお客様を対象にしたサポート・サービスをはじめ、アルパインサイトの様々なオンラインサービスをご利用いただけます。

詳しくは以下のサイトまで！

https://secure.alpine.co.jp/cras/reg_top.html

◆アルパイン個人情報保護方針◆

1. 個人情報の利用目的

お客様の個人情報は、以下のような目的で利用されます。

- ・ 郵送及び電子メールによるお知らせやアンケートの発信。
- ・ アンケートのご回答やプレゼント応募に対する景品・商品等の発送。
- ・ お問合せに対する連絡・確認。

2. 個人情報の開示について

当社は、お客様からご提供頂いた個人情報を適切に管理します。当社は、以下のいずれかに該当する場合を除いて、お客様の個人情報を第三者に開示することは原則としていたしません。

- ・ お客様の同意がある場合。
- ・ お客様に明示した目的を実施するために、当社の業務委託先に開示する必要がある場合。尚、その場合当社は業務委託先に対して機密保持契約を締結する等の方法により、その業務委託先からの漏洩、再提供の防止を図ります。
- ・ お客様を識別することができない状態で開示する場合。

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

● インフォメーションセンター

< 一般回線ご利用のお客様用 >

TEL : 0570-006636

※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。

(一部回線でつながらない場合があります。)

< 携帯電話、IP 電話、光電話等をご利用のお客様用 >

TEL : 048-662-6636

● 電話受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 30 (土日、祝日、弊社休業日を除く)

● 電話は混雑が予想されます。FAX での問い合わせをおすすめします。

FAX : 048-662-6676

● アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

FAQ (よくあるご質問) <http://www.alpine.co.jp/support/faq/>

アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介します。

アルパイン マーケティング株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in China

68M09043J57-O

